

# 交通安全を第一に

## 空港、舟岡山への土石運搬

十月末の本体工事着工、吾岡山カットの地元了承により、ダンブカーによる土石の運搬が、このころの大きな問題となっています。

運搬は一日約二百台(二十台が十回)、一月末あたりから約二年間走ることとなります。吾岡山の法カット(約六〇)については県が航空局から委託を受けて行うもので、生じる土石量は約一万九千立方メートル、③西方の舟

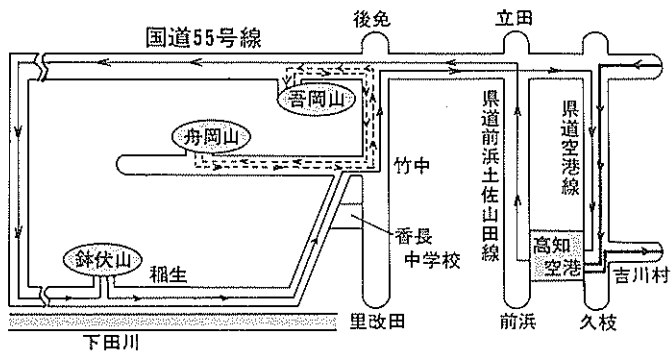
空港の整備のうち、本体の土木工事は運輸第三港湾建設局(以下三建といいます)が、無線や照明、建物は航空局、全体の管理運営は空港事務所が担当となっています。

三建の説明によると、本体工事



### 土石運搬経路

- ① 稲生鉢伏山—空港(一)
- ② 香我美町—空港(一)
- ③ 吾岡山—舟岡山・往復(…)



岡山へ一日約五十往復(三、四台で一月から三月末までの間運搬します。(コースは図参照)

この計画で問題になるのは、交通量の増大にともない交通安全が確保できるのかという心配です。

十二月議会でも、このことがとりあげられ、交通安全が確立するまでは、土石の運搬はさせないようという声もありました。

交通量が、いまでさえ多く、危険な国道五十五号線から竹中(大塚)の間は、香長中、大塚小の通学路にもなっています。

十二月十八日には、県教職員組合の先生方が、約一千名の児童、生徒の安全のために、関係機関の

### 空港対策調査特別委員会でも

#### 土石運搬、切戸放水路を検討

議会内に設けている高知空港対策調査特別委員会(橋本二三委員長)は、十二月二十五日、三建、県の空港事務所と土木部に出席を要請、問題になっている事項を解決するために、積極的なはたらきかけをすることを決めました。

① 本体工事に必要な土の運搬は一

説明をきくとともに、②ルート変更を含めた安全諸施策を要求しました。

また、同二十日には、香長中、同PTAからも(一)車輛運行開始八時三十分の厳守(二)自転車通学路の完備(三)六カ所への信号機の設置(四)速度制限と教室の防音完備(五)車輛運行要領を示し、合意を図る(六)以上五項目が完全に実施されるまで、關係者約四十名が、五十五号線から香長中を経て稲生の千屋崎まで歩いて現地調査をしました。

岡や県は、基本的には要望書にそうよう努力すると約束したものの、(一)は河川管理者の同意がむずかしいし、工期もない。(二)は公安委員会費用ではむずかしい(三)は教室防音の工期など、一月末までにはできない要素もあり(四)を守れないという事態は考えられます。

日二百台と多いが、交通安全が心配だ。これに加えて、資材運搬用車輛もかなり多くなると思うが。

☆後免、浜改田線は一日に約二百台が通行しています。吾岡山の分と合しても三百台少しがふえる計算で、なんとか処理できるのではないのでしょうか。

☆土運搬は八時半から日没まで、期間は一月末ごろから来年三月ごろまでです。

②吾岡山は法カット(約六〇)により出る土石量が一万九千立方メートルだが、カット条件の一つになっている跡地利用については、地元の要望は出されているものの、県、市、地元協議がうまく進まない。これを早くしないと進まないのではないか。

☆春早々に協議します。一番の問題はどんな施設をするのか、何日までカットするのが同時に解決しなければなりません。

水の問題も重要です。小学校だけでなく保育所なども一度にはいかないだろうが徐々に整備してもらいたいものです。空港関係事業については、市の負担ゼロというのが基本姿勢なのでどんなご援助がいただけるか注目しています。

③吾岡山の土石を舟岡山へ運ぶ往路は安全面、経済面からも五十五号線を西進するコースに変更できないものだろうか。

☆切戸放水路の完成は、空港の整備と密接な関係にあるので、早急に地元同意を得て、今年度用地買収、米年度概成というところで努力します。地元は海からの災害波を心配しているようですが、放水路の先端を離岸堤から約二十五メートル出しますので、少なくとも今よりは良くなるかと確信しています。